製剤別比較表（案）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 後　発　品 | | | | 標準製剤 | | | |
| 会　社　名 | 販売元：株式会社フェルゼンファーマ  製造販売元：辰巳化学株式会社 | | | |  | | | |
| 商　品　名 | 日本薬局方　レボフロキサシン錠  レボフロキサシン錠５００ｍｇ「ＴＣＫ」 | | | | 日本薬局方　レボフロキサシン錠  クラビット錠５００ｍｇ | | | |
| 薬　　　価 | ６９.９０ 円／１錠 | | | | １３３.３０ 円／１錠 | | | |
| 成　分　名 | レボフロキサシン水和物 | | | | | | | |
| 規　　　格 | １錠中レボフロキサシン水和物（日局）５１２.５ｍｇ（レボフロキサシンとして　　　５００ｍｇ） | | | | | | | |
| 薬効分類名 | ６２４・合成抗菌剤 | | | | | | | |
| 効能又は効果 | ＜適応菌種＞  本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、淋菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、炭疽菌、結核菌、大腸菌、赤痢菌、サルモネラ属、チフス菌、パラチフス菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属、ペスト菌、コレラ菌、インフルエンザ菌、緑膿菌、アシネトバクター属、レジオネラ属、ブルセラ属、野兎病菌、カンピロバクター属、ペプトストレプトコッカス属、アクネ菌、Ｑ熱リケッチア（コクシエラ・ブルネティ）、トラコーマクラミジア（クラミジア・トラコマティス）、肺炎クラミジア（クラミジア・ニューモニエ）、肺炎マイコプラズマ（マイコプラズマ・ニューモニエ）  ＜適応症＞  表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、ざ瘡（化膿性炎症を伴うもの）、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、精巣上体炎（副睾丸炎）、尿道炎、子宮頸管炎、胆嚢炎、胆管炎、感染性腸炎、腸チフス、パラチフス、コレラ、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、炭疽、ブルセラ症、ペスト、野兎病、肺結核及びその他の結核症、Ｑ熱 | | | | | | | |
| 用法及び用量 | 通常、成人にはレボフロキサシンとして１回５００ｍｇを１日１回経口投与する。なお、疾患・症状に応じて適宜減量する。  肺結核及びその他の結核症については、原則として他の抗結核薬と併用すること。  腸チフス・パラチフスについては、レボフロキサシンとして１回５００ｍｇを１日１回１４日間経口投与する。 | | | | | | | |
| 添　加　物 | カルメロース、セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、二酸化ケイ素、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール、酸化チタン、タルク、黄色三二酸化鉄、三二酸化鉄、カルナウバロウ | | | | 結晶セルロース、カルメロース、ヒドロキシプロピルセルロース、フマル酸ステアリルナトリウム、ヒプロメロース、酸化チタン、タルク、マクロゴール６０００、黄色三二酸化鉄、三二酸化鉄、カルナウバロウ | | | |
| 製品の性状 | うすいだいだい色・  楕円形フィルムコーティング錠（割線入り） | | | | うすいだいだい色・フィルムコーティング錠  （楕円形・割線入） | | | |
| 直径(mm) | 厚さ(mm) | 重量(mg) | 識別ｺｰﾄﾞ | 直径(mm) | 厚さ(mm) | 重量(mg) | 識別ｺｰﾄﾞ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 16.2×7.9 | 5.4 | 670 | 16.2×7.9 | 約5.6 | 約674 |
| 標準製剤との  同等性 | 血漿中濃度（健康成人男子、絶食単回経口投与） | | | | | | | |
| 備　　　考 |  | | | | | | | |
| 担当者  ・連絡先 |  | | | | | | | |

2024.04